

テンポスグループ取引先及び厨房業界に関心のある皆様へ

(株)テンポスホールディングスの M&A、株式投資の考え方

2025 年 6 月 1 日

〒144-0031 東京都大田区東蒲田二丁目 30 番 17 号

株式会社テンポスホールディングス

取締役管理部長 森下 和光

電 話：080-5989-6667

メール：morishita.kazumitsu@tenpos.co.jp

拝啓 皆様におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、弊社は 2025 年 5 月 26 日、東証スタンダード上場のマルシェ（コード No7524）に対して第三者割当増資の引き受けを発表いたしました、所有比率 21%と第 1 位株主となります。同社との資本、業務提携により弊社の外食事業（5 月に子会社化の発表をいたしました年商 50 億のサンライズ社、ステーキのあさくま、回転ずしのヤマトサカナ）の今後の予定売上は **300 億の規模**を目指します。

これは**外食事業ランキングで 50 位**の位置となります。300 億の仕入圧力によりコメ、酒類、をはじめ厨房機器の仕入れにも交渉力を高められると考えております。

同時に、厨房機器の仕入れ力を高めるために、**北沢産業（コード No9930）**の株式 7.7%を保有し、弊社代表取締役**森下篤史**を**社外取締役**に選任いただくよう株主提案をいたしましたが誠に残念ながら、同社取締役会は 5 月 19 日日本株主提案に反対する旨の決議がされました。

今の世の中は変化の時代、一社で頑張っていける時代ではないのではないのでしょうか！**日立製作所**のように利益の出ている日立化成を売却し、投資すべき事業的を絞る動きや、**ニデック**のように周辺業務を取り入れ世界で活動する原動力を高める動きが、まさに変化の象徴だと感じます。

それに比べると厨房業界の再編は遅れていると言わざるを得ません。

弊社は、長年にわたり飲食業界の経営者として、また多くの企業の再建や成長に携わる中で、激変する市場環境に対応し、持続的な成長を実現するためには、常に新しい視点と経験を取り入れることが不可欠であると痛感しております。

北沢産業は素晴らしい歴史をお持ちですが、現在の市場において、その潜在能力を最大限に引き出し、更なる飛躍を遂げるためには、従来の枠を超えた経営へのテコ入れが必要な時期に来ているのではないかと考えております。特に、競争が激化する飲食業界向け事業や、新たな収益源の開拓といった点において、外部からの経験豊かな視点が重要な示唆を与えると確信しております。

ここで、森下篤史をご紹介します。森下は 28 年前、テンポスバスターズを設立し、飲食店の開業支援から中古厨房機器の再生販売、不動産仲介、外食事業など、多角的な事業を展開することで会社を成長させてまいりました。ゼロから事業を立ち上げ、市場の変化に柔軟に対応しながら事業を拡大してきた経験は、北沢産業が今後新たな成長戦略を描く上で必ずお役に立てると考えております。

森下は、特に以下の点において、北沢産業の経営に貢献できると確信しております。

- ① **飲食業界の深い知見とネットワーク:** テンポスホールディングスを通じて培った飲食業界の生きた情報や経営のノウハウ、広範なネットワークは、北沢産業の主要顧客である飲食業界へのアプローチ強化や、新たな販路開拓に貢献します。
- ② **M&A 等による事業再編・多角化の経験:** 成長のための M&A や事業ポートフォリオの見直しに関する森下の経験は、北沢産業が直面しうる事業構造の変革や、新規事業への参入において、現実的かつ有効なアドバイスをもたらすと信じております。
- ③ **コスト意識と経営効率の追求:** 厳格なコスト管理と経営効率の追求は、森下が常に重視してきた点です。これは、北沢産業の収益力向上に直接的に寄与するものと考えられます。
- ④ **外部からの客観的な視点とガバナンス強化:** 社外取締役として、北沢産業の経営に対し、内部からは得られない客観的な視点を提供し、透明性の高い経営とコーポレートガバナンスの強化に貢献します。

弊社は、森下が社外取締役に就任することで、北沢産業の既存の経営陣の皆様と協調し、その豊富な経験と知見を融合させることで、北沢産業の企業価値をより一層向上させることができると強く信じております。これは、株主の皆様の利益最大化にも繋がるものと考えております。

北沢産業の大株主である光通信グループ様にも本主旨のご説明を行っております。本文書は当社取引先及びホームページにも公開し、広く弊社の考え方をお知らせし、厨房業界の再編への第一歩となることを願っております。

本件に関するご質問等がございましたら、お気軽にお問い合わせください。

末筆ではございますが、株主の皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。

敬具

<ご参考資料>

厨房業界比較						単位：百万円
社名	北沢産業	マルゼン	2社比較	テンポスHD	ホシザキ	北沢産業に対する分析
決算期	2015年3月期	2015年2月期	倍率	2015年4月期	2015年12月期	
15年売上	169億83	442億58	2.6	235億94	2601億74	
決算期	2024年3月期	2024年2月期		2024年4月期	2024年12月期	
24年売上	164億71	605億96	4.0	370億74	4454億95	業界全体は伸びているけれど
伸び率	97.0%	136.9%		157.1%	171.2%	北沢産業は減少傾向にある
15年経常利益	4億63	39億87	8.6	18億73	308億64	
24年経常利益	10億70	53億00	5.0	30億69	578億23	
伸び率	231.1%	132.9%		163.9%	187.3%	利益の伸び率はトップ
15年利益率	2.7%	9.0%		7.9%	11.9%	
24年利益率	6.5%	8.7%		8.3%	13.0%	利益率の改善余地がある
15年時価総額	33億46	188億58	5.6	189億47	5474億54	
24年時価総額	66億55	431億33	6.5	408億81	8911億29	時価総額が低めではある
15年従業員数	474人	897人	1.9	562人	12.634人	
24年従業員数	419人	1271人	3.0	838人	16.061人	人数減で効率はUP
採用情報	2025年4月	2026年4月		2025年4月	2024年4月	左記の情報は各社のホームページより引用
営業職給与	200,000円	280,000円		250,000円	272,661円	
見込残業時間	11時間迄	記載なし		30時間迄	32時間迄	

※時価総額は、各社の期末の数字をIR BANK社から引用させていただいております。

※売上ほか各数字は各社の有価証券報告書、ホームページから引用させていただいております。